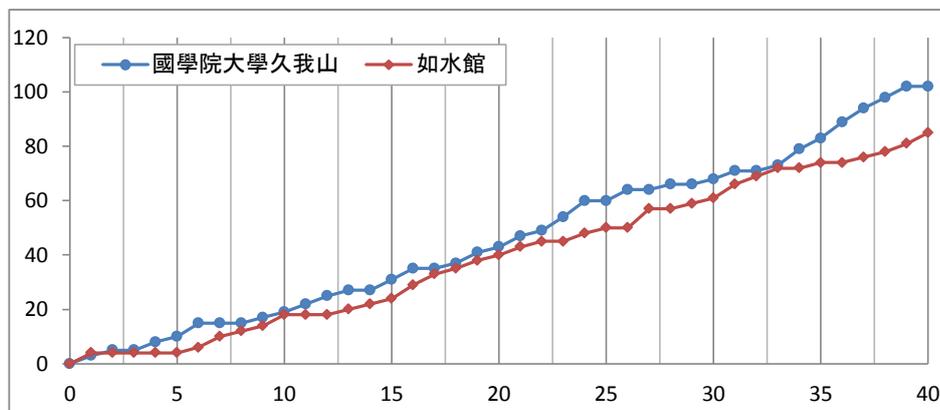


平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 1回戦	國學院大學久我山 102	19 - 18	85	如水館
主審 御手洗 亮	(東京) ○	24 - 22	●	(広島)
副審 居波 傑		25 - 21		
		34 - 24		
		-		

No. 29c5 日時: 2013年7月29日(月) 16:10 会場: ベっぷアリーナ



國學院大學久我山

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 東 宏輝 (C)	24	2	8	2	2
5	東 克弥	12	2	3	0	1
6	* 濱西 秀人	21	1	8	2	3
7	東 暉	11	0	5	1	4
8	* トカチヨフ サワ	10	0	5	0	3
9	* 孫 景植	1	0	0	1	1
10	* 戸堀 勇吾	14	0	7	0	3
11	佐藤 瑠太	0	0	0	0	0
12	中山 裕基	5	1	1	0	1
13	平川 優一郎	0	0	0	0	1
14	穂積 青輝	2	0	1	0	0
15	町田 勇輔	2	0	1	0	1
コーチ	酒井 良幸					
合計		102	6	39	6	20

如水館

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 花田 英次 (C)	23	2	6	5	5
5	* 野村 悠也	5	1	1	0	2
6	* 伊東 瞬	28	0	12	4	2
7	* 山脇 公貴	12	2	3	0	2
8	* 岡田 拓	10	0	4	2	1
9	瀬川 耕平	2	0	1	0	3
10	茂刈 皇希	5	1	1	0	3
11	大元 健聖	-	-	-	-	-
12	河野 拓海	-	-	-	-	-
13	富岡 大夢	-	-	-	-	-
14	堺 純平	-	-	-	-	-
15	小濱 優平	0	0	0	0	0
コーチ	秦野 誠次					
合計		85	6	28	11	18

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

第1ピリオド両チームハーフコートマンツーマンDefでスタート。久我山は#8の高さを生かした攻撃と#4のシュートなどで着実に得点を重ねリードする。如水館は#4のスピードのあるドリブルからの攻撃や粘り強いDefから速攻を狙う。久我山の高さのある攻撃に対して、如水館の厳しいDefが久我山のターンオーバーを誘発すると、#5を中心としたテンポの良い攻撃で追い上げ19-18久我山1点リードで第1ピリオド終了。第2ピリオドは両者譲らず互角の攻防。久我山は厳しいDefでリバウンドを支配し、速攻から得点を重ねる。如水館も高さをスピードでカバーし、#5のドライブや#6のポストプレイで得点し簡単には引き離されない。久我山は#4、#6を中心に確実に得点する。如水館も速攻や#6のシュートでついていき、43-40久我山が3点リードで前半終了。

第3ピリオド序盤、リズムに乗る久我山は#4、#5の3P、#6のバスケットカウントなどでリードを広げる。残り4分、如水館の3-2ゾーンを久我山が攻めきれず、如水館#7の3Pや、#6のリバウンドからのバスケットカウントで波に乗る。68-61久我山リードで決着は第4ピリオドへ。第4ピリオドでも如水館の勢いは止まらず、粘り強くOffリバウンドを拾い、開始2分ついに同点に追いつくと、久我山たまたまタイムアウト。お互い譲らず一進一退の攻防が続く。久我山が一歩抜け出すと、如水館はオールコートでプレッシャーをかけるが勢い止まらず、久我山の速攻が決まりだす。如水館は残り4分タイムアウトで立て直しを図るが、久我山#6、#7が得点を重ね万事休す。如水館#4、#6が奮闘するが高さに勝る久我山が102-85で2回戦に進出した。小柄ながら豊富な運動量で、最後まであきらめない粘りを見せた如水館に会場から暖かい拍手が送られた。

記者 田北 俊郎 (所属) 大分県バスケットボール協会